

参加申込み者のコメント集 —— 今回の開催に期待することは？ ——

- 1. 初めてですので、まずは、皆さんの意見を伺いたいです。
脱原発派です。新しいエネルギーを希望しています。
- 2. 原発の現場で働く作業員の方々の状況と、被ばく作業員の状況を知りたい。
- 3. 聴衆からの質問は、その質問項目と同様の質問をしたい人を挙手させて、多ければ質問継続、ごく少数ならば後回しとし、別の質問者を指名する方法で、質問内容が聴衆を代表するような采配を司会者はして欲しい。
時折、不勉強ながら厚顔の人が愚問をくどくどと説明し、時間ロスと、質疑応答の低レベル化をまねく恐れがある。
- 4. 会を重ねる毎に、深く芳醇な議論が出来つつあると感じています。前回の平岩さんの説明・パワーポイントは、よく整理されシンプルだったのでよく理解出来ました。今回は、今後必要な全世界的エネルギー対策を聞きたいです。そして、それを実現するために、日本、名古屋で何をすべきか、方向性を示していただきたいです。
- 5. 今後の進め方、スケジュール感を今一度共有したい。当会議としての最終的な選択を価値あるものにするためには、答えを急がず、冷静に、丁寧に論点を整理し、判断材料を積み重ねるプロセスが重要だと思います。
- 6. 今回の会議における論点を明確にした質疑応答、議論となるように上手く進行して頂きたい。原子力の安全性に関する議論は、福島事故調査報告を踏まえてから議論することとし、次回は、日本のエネルギーセキュリティー（安定供給・経済への影響）の観点から、中部地方における原子力発電や再生可能エネルギーのボリュームを将来的にどう考えるべきか、市民会議としての方向性を示すための議論へ展開して頂きたい。
発送電分離などのシステム改革の議論も方向性が出てきており、仮に浜岡を廃炉にした場合、中部地方の電気代はそうなるのか、電力供給はどうなるのか、製造業が中心となる中部地方の経済活動に及ぼす影響はどの程度かについて、シミュレーションを行って頂きたい。これまで原発なしでも電気代は安くなると唱えられてきた発起人の先生と中部電力で共同作業をするか、あるいはそれぞれシミュレーションを行い比較検討するとか。
- 7. 今回が初めての参加ですのでエネルギーといっても広範囲になります。
この市民会議がどのようなエネルギー問題を対象に話をされますのか知りたく思っています。
- 8. 前回中部電力社員のプレゼンのメインテーマはエネルギー安全保障であったが、長期的な視点に立ったエネルギー安全保障戦略は何なのかを見極めたい。

- 9. 1. 再稼働の意義
2. 脱原発依存における再稼働のメリットとデメリット
- 10. 原発の場合、自然災害、或いは他の原因（材料の腐食、劣化等）による不具合にしても、その不具合モードの組み合わせは極めて複雑で、大きい（無限大？）ことが予想される。その当たり中電殿の技術的見解は？
現状では想定外が多いのでは？
3.11 事故以後、従来、想定外であった不具合内容の対策は何件程度対策を取られたのでしょうか？
- 11. 長期的なエネルギーの安全保障の観点からどのエネルギーを日本は育てるべきなのかを明らかにしていきたい。前回の中部電力のプレゼンのメインテーマを追求したい。
- 12. 前回参加できず残念でした。正直、参加するのに忍耐が必要な会議ではありますが、論拠を理解するような耳で話をじっくり聴かせてもらえたらと思っています。2回の時にあったような、「チェルノブイリの事故で死んだのは…人」というような一方的な発言で会が閉じないことだけは期待したいです。
- 13. 第4回目にして、やっと参加できます☆
まずは、場の雰囲気を知りたいなあと思います。
- 14. 6/26に「原発ゼロの会」が発表した即刻廃炉とすべき上位に、当地方の浜岡原発4、3、6がランクされていた。一部の意見と思われるが、福島原発の事故を受けて、政府から真っ先に強力な停止要請があったことなどから、他の原発を再起動する際にはスケープゴートにされることも予断を許さない。努力することは当然であるが相当な困難な状況下にあると思われる。その場合、大幅な電力不足に至ったり、他社から仰ぐのではなく中部地方独自で、特に産業界を中心にエネルギーセキュリティ、供給などについて、代替案を副次的に今から考えていくことが必要な気がします。
- 15. 原発再稼働について。
政府の発想と、電力会社の発想と、民間または庶民の発想と、想像もつかないこの大きな感覚のずれは何なのでしょう。大飯原発が再稼働するなんて考えられません。ストップさせる方法はないものですか。
- 16. 脱原発・廃炉へのあらゆる立場からの意見集約。
- 17. 初めての参加です。
情報共有の重要性を認識する機会にしたいと思います。
- 18. 今回、初参加ですが、環境とエネルギー、生活を考えるよい機会と思います。
- 19. 4月5月の会議に不参加ですので、事前勉強をしてから行きます。

以上